

## 波紋

平成14年 9

PUBLISHER : 森松株式会社  
SEP No.207 EDITOR : 梅田文康

## 韓国出張 ～ソウル協力工場訪問～

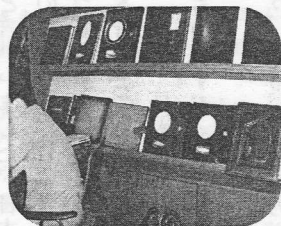


デザインセンスが全く無いので、山下デザイナーを引き連れて初めて韓国へ出張させていただきました。

目的は、通販・東急ハンズ・新規開拓の商品探しと新商品の収集です。牧野マネージャーの計らいで、金副社長・玄安那を紹介され、日本で3回会食を共にしたのが切っ掛けでした。金さんとはまるで兄弟の様にスマートな体形が一致し、意気投合してしまいました。

今回の韓国出張の趣旨・訪問したい業種・商談内容をすべて事前に打ち合わせ後、滞在予定表の確認までし合い、時間を最大限に使っての訪問となりました。事前に行っていた数10通のメールのやりとりが功を奏しほぼ希望通りの出張となりました。メール・電話・FAXはすべて日本語です。韓国語がペラペラの僕にとっては必要絶対条件であったのは言うまでもありません。

韓国は、ハングル文字さえ視野に入らなければ日本と全く変わらないのが印象的でした。韓国企業は、日本を訪問する際、必ず東急ハンズでサンプル購入をするそうです。韓国で森松の「3Dマウスパット」を見せてもらった時にはびっくりしました。時間との戦いでしたので目的商品しか見学できなかつ



たですが、南大門（雑貨関連の間屋街のような所）は、1日費やして見学したいと思いました。

今回の出張は、金さんが2.5日間、付き切りで世話をしてくれたお陰です。この恩返しは、商品

を購入することだと思っておりますので、何とかプリント技術、アイデア、デザイン、シリーズ化で商品企画を行い100円ショップ商品とは差別化した物作りで提案して行こうと思いました。

一番勉強したのは、日本語が話せる事の「落とし穴」です。「理解しているな…」と思っても実際には少し理解不足あったり、感覚の違いがあったり…で思ったものと違っていたりすることも多々ありました。言葉が少し通じることに安心して簡単に考えていると痛い目に合うことを痛感しました。「伝わっている様で伝わっていない」ジレンマ！でも、同じ日本人同士・社内でも同じことが言えるのかな????

伊東 郁二 (プロジェクト④)



森松にはどの様なブランドとなる力があるか？ 言い換えれば信頼される会社とは何が必要でしょうか？

社長 森 直樹

先月は中国について触れましたが、引き続き帰国時に気づいたことを述べると、半年振りの日本はやはり快適でした。また街の移り変わりを感ずることができました。そして私自身気づいた時に意外に思ったのが日本人は皆身なりが良いという事。綺麗な町並み、小綺麗な人々、さすがに経済大国日本、皆良い物を着ている！とまるで外国からの観光客のようですが正直そう感じました。経済の発展に合わせて市場の品揃えもどんどん良い物が増えています。イタリアの革製品、ドイツの文房具、世界各国からいいものをどんどん買入れ、それを買っていただくお客さんがいます。アメリカでも物に対するこだわりはあるし、良い物も手に入るが日本ほど充実していません。それよりも最低限の役割を果たせばそれで良いという感があり、その分価格は安いです。これは海外製品を輸入するとき、このこだわりの違いが日本人の品質に対する厳しさとなって現れているのでしょうか。もちろん高品質かつ安価というのがベストです。しかしデフレ傾向が進む現在それらの基準がこれまで同様受け入れられていくかというのは疑問です。品質の悪くて(非常に)安いもの、品質の良くて高いもの、またその中間等様々な区分けが作られていくでしょう。そして「日本製」というブランド力は、その根源である品質をより高めてこそ生き残ることができるのです。我々森松にはどの様なブランドとなる力があるか？ 言い換えれば信頼される会社とは何が必要でしょうか？

## 森松USA 「帰国時の所感」

皆様お盆休みはどのようなように過ごされたでしょうか。こちらでもパケーションを取る方はもちろんいますが日本と違い盆休みがないので帰省ラッシュといったものが聞かれません。今月は同時多発テロの一周年ということで記念の式典はもろろん行われるでしょう。頻繁に取り沙汰されている新センターの建設計画も今は様々な案や意見が出されています。数年後そこが慰霊地だけになっているのか、高層ビルになっているかは、まだわかりません。

## 『日本人は水持ち(金持ち)』

お茶が入っている2リットルのペットボトルが自宅の食卓の上に置いてあります。自宅や会社で「水」を飲まなくなって久しい。ガソリン1リットルよりミネラルウォーター1リットルの方が高価。石油が産出しなくても、金鉱が無くて、天然水の沢山ある日本は金持ちです。「金」を持つより「水」を持っていたほうが価値がある時代になりそう…。これからは金持ちとは言わずに「水持ち」と言う言葉が流行しそうです。

かつて有名な経済学者は、貧しくなれば子供を作る余裕がなくなるので、子供の数は減り、豊かになれば、子供をつくる余裕があるので、子供の数は増えると言いました。日本の現状はどうなっているのでしょうか。日本は豊かになつて子供の数は減っています。不思議な感じがします。日本は、本音のところ「貧乏」になつたのでしょうか？ また、日本には「貧乏人の子沢山」と言つたものですが、この考え方は間違ひになりました。

21世紀に入ったら、「20世紀の常識の逆が正しい」と思った方が正解の場合が多くなりました。常識と思つていた事項が常識でなく、今まで非常識と思つていた事が常識になりました。

常識と思つていた事が常識になりました。大変やりにくい、困つた時代になつたものです…。

森 信之

## 『入院』

7月末に、急性扁桃炎、急性咽喉頭炎で高熱が続き、喉の痛みで食事が摂れず、栄養剤と抗生物質投与のため、約1週間入院しました。

子供の時から扁桃腺が弱く、風邪を引くと扁桃腺が腫れ、高熱と喉の痛みで唾を飲み込むことができず、1週間くらい寝込むことがよくあり、今回同様の入院が過去に2回あります。13年前に扁桃腺切除の手術をし、それ以来風邪を引いて寝込むことは殆どなくなっていました。が、なぜか復活してしまい、皆さんに迷惑をかけることになってしまいました。原因は、体力の低下とタバコ等の刺激物がいけないよう、タバコはできるだけやめるように言われましたが、やめることができずに本数を少し減らすように努力しています。

私の入院より2週間程前に、別居している父親が肺が菌が入り手術のため入院していて、親子で入院することになってしまいました。二人とも無事退院できました。

年と共に体力が無くなり、健康診断でもいろいろ異常があらわれ体にガタがくるような年になつてきたのかなと感じます。これからは、食事や運動など健康管理にもつと気をつけていこうと思います。入院中は、皆さんに大変ご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。

岩間 正美 (ドリーム7)

## 『カブトムシ』

昨年、夏祭りを買った2匹のカブトムシと、捕まえた3匹のカブトムシを子供と飼い、たまごから幼虫、蛹、そしてこの夏無事に22匹の成虫の誕生となりました。冬の幼虫の餌かえ、乾燥しないように水撒き、ひとつの水槽では足りないため3つに分けたり、子供も生き物を育てるといふ事が少しは分かってくれたと思います。自分も子供の頃父とカブトムシ取りに行き、育てたものでした。しかし今回は自分が親になり、子供と一緒にカブトムシを育てていく、やっぱり親が教えてやらなといかんなあと思っています。また来年に向けて用意をはじめなければ…。

今はなんやかんやで、カブトムシ・クワガタムシ(2年目)・鈴虫(これも昨年飼い、卵から育てています)・メダカ(これも卵から育てています)・金魚(5年目)等々。生き物を大切にすることを子供に育つてほしいものです。

\*PS 嫁さんは虫ばっかりいいかげんにして！ といっています…。

加藤 雅昭 (ドリーム7)

## 読後感

## 「スピード人間が成功する」

著者：中谷 彰宏

スピード＝行動力の有無により、新しい可能性及びチャレンジへと導く手段として意識を改革（改善）する為、いかに時間を無駄にしない行動をとれるかがどうか問題視され、今自分が持っている時間が次に生み出すすべてのものの源になるという事柄を大切にしていかなければいけない。仕事面においても、最初に目標を立てているかどうかで流れは個々に変わり努力次第で迅速に処理する事が出来るかが能力の差につながる為、目標を決める事により「今」という時間に徹底的にこだわる事によりポジティブ（前向き）的行動がやる気という行動がおのずと付いてくる。又、雑用を片付け＝トイレ清掃＝段取り＝仕事の流れという気付きが時間（ゆとり）が有るといのが一番大事な事なので”徹底的に「今」にこだわって行きたいと思う。

長崎 修（レインボー）



## 「ライオンは眠れない」

著者：サミュエル・ライダー

破滅か再生かー非常事態の日本経済のゆくえは？  
この本を読むと、『破壊』という言葉が何度も出てきます。この言葉は、この本の中だけではなく、21世紀のわれわれの社会においても、いま一番のキーワードだと思います。『破壊』は破壊のための破壊ではなく、変革のための、再生のための、復活のための、創造のための破壊。『破壊は痛みをとまなうが、その向こうには必ず再生がある』

ライオン王（小泉首相）が夜も眠れないくらい心配しているX計画とは何か？近いうちに日本国は破産し、国民がその犠牲になるでしょう。『預金封鎖』『デノミ』『新円切り換え』『財産税』…。明らかに、国家による国民財産の収奪。

日本という国は、債務超過で破産の一步手前、いや、もうとっくに破産していてもおかしくない状態です。私自身、経理という立場からみても、今後、日本がどのような方法で、この債務超過の状態を打破するのだろうか!?というの、検討もつきません。しかし、この本を読んで、『財産税』の導入等の方法は、ひょっとしてあるのかな？と思いました。しかし、現実的に考えると、恐ろしいような話でもあります。しかし、ものすごい不景気になって、失業者があふれ、銀行もつぶれて大恐慌になるよりは、『破壊』しかないのかな？『破壊』の後の『再生』のために。

村田 恒夫（ユニティー）



## 『携帯電話』

先日、久しぶりに乗ったJRの車内でのこと。車内の雰囲気がなんだか違う。静かなのである。私の座っている座席の向かいに十人ほど乗客が座っている。その中の六人が携帯電話にとらめっこ。もちろん私の両隣も同じである。みな一様に顔に何の表情も表さず、只、ひたすら画面に向かっているのである。

昔の車内風景は、騒々しいというのが相場であった。同僚どうしの仕事の話、奥さんたちの近所での出来事など聞くとはなく聞かされてくるその会話に、義憤を感じたり、はたまた、にやついたりして目的の地までの刻を何の苦痛も感じない事無く、行ったものである。それが何故、どうして、会話のない風景になってしまったのであろう。

国を挙げてIT化が叫ばれて久しいが、その頃からはないだろうか？ パソコン、テレビゲーム、携帯電話が普及し、家族の会話がなくなり、引きこもりが社会現象化し、そして、アダルトチルドレンを産み、それによる身勝手な人種が増えてきているからではないだろうか。

だが彼らの多くはIT化社会の犠牲者ではないだろうか？ 国をあげての政策も去ることながら、文明化社会を構築するわが国の構造の一端を担うことになった携帯電話。良くも悪くも携帯電話という産物の恩恵というのは、人類に大きな影響を及ぼした。その反面、人間関係の希薄、それから生まれる個々のコミュニケーションの不足。人と

人との結びつきを自然の摂理としてきた人類にとつてその現実はありません。あまりに寂しく、儂く思えてならぬ。



近藤 謙（レインボー）

2002年

9月の予定



1日(日)	名南法人会・特別研修会
3日(火)	宮岸礼子さん誕生日
1日(日)	誕生会
2日(月)	ギフトショー・東京ビッグサイト
4日(水)	第一土曜休み
6日(金)	モーリン会・コンペ
7日(土)	志水満さん誕生日
8日(日)	第二土曜休み
14日(土)	安井浩二さん誕生日
15日(日)	敬老の日
16日(月)	振替休日
21日(土)	横山敏秋さん誕生日
23日(月)	秋分の日
24日(火)	経営会議 7時30分～
25日(水)	営業会議 15時10分～
26日(木)	編集会議 18時00分～
26日(木)	第29回全国技術士全国大会・協賛 生産会議 18時00分～
28日(土)	田口裕子さん誕生日 第四土曜休み

### 第10回 10th ANNIVERSARY

## 「元気が出る森松展」

### テーマ「情報が明日を制す」

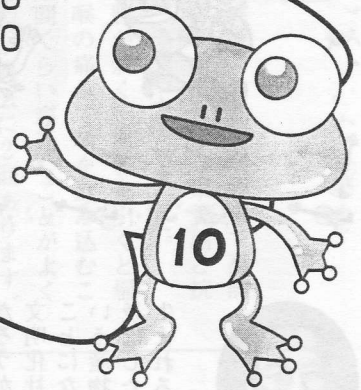
#### サブテーマ「スピード&コスト」

日時：平成14年10月24日(木) 8:00～18:00  
 25日(金) 8:00～18:00  
 26日(土) 8:00～17:00

場所：森松株式会社 本社5Fホール

森松展実行委員長：吉岡 孝記  
 副委員長：安井 浩二・岩間 正美

※お陰様で第10回を迎えることが出来ました。  
 今回は10回目にふさわしく、より一層「新鮮な情報」を提供します。  
 なお、「生分解性」「環境ホルモン」に関する講演会もご用意しております、乞うご期待！



## 編集後記

去る8月3日には埼玉県所沢にあります「西武ドーム」で開かれましたコンサートに行って来ました。一部では有名なのですけど「渡辺美里」と言う女性シンガールのコンサートで、彼女は同じ西武ドーム(以前は西武球場)で毎年この時期に17年連続コンサートを開き、私も7年連続と付き合い合っています。こうなると腐れ縁と言いますか、彼女も私も辞めるに辞められずに半ば惰性(?)で、しかし毎年この時期を楽しみにしています。

これですけど、彼女も(37歳)私も(31歳)結婚も出来ない、悪友(今月31歳・野郎)と嘆いています。うなったらヤケクソで20回、30回と続けられる所まで頑張ってみるかな?でも来年は彼女と...



谷澤 享  
 (レインボー)